中札内から元気いっぱい

校長室より

北海道中札内高等養護学校

第4号

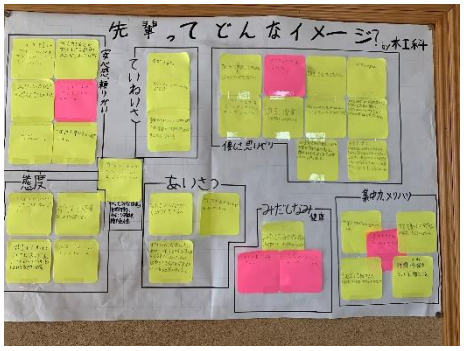
令和4年5月9日（月）

役場の人と直接やり取り

「花を一度引き取りに来ました」
「いつもありがとう、おねがいします」

連休に入る前、中札内村役場に飾っていた花を、中札内の農業科の生徒が手入れのために回収に来ていました。自分で役場の総務課の担当者の方に声をかけ、「花を一度引き取りに来ましたー」と挨拶をして作業をする流れも大事な手続き。緊張しますが、こんなやりとりを繰り返すうちに、自信をもってやり取りできる生徒たちはとても頼もしいです。ある保護者の方から「誰とでもやり取りできるようになった自分の子どもを見ていつも驚きます。」と言われたのを思い出します。学校だけではなく、村の方々からも育てていただいています。いつもありがとうございます！

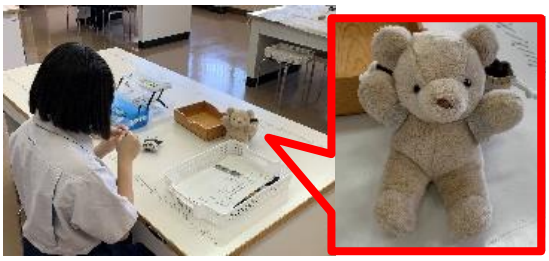
職場で「先輩」はどうあるべきか



「先輩」という定義を学んだのですね

木工科２年生の教室前で「先輩」について学んだ掲示を見つけました。先輩についてどんなイメージをもっているか？という掲示でした。生徒たちがさまざまなイメージを書いたものを見ながら、毎日一緒に過ごす上級生から学ぶことは偉大です。自分たちがどのように２年生として行動するか？の意識にもつながります。後輩を育てる意識をもつことが、きっと２年生自身を成長させることにもなるのだと思いました。

この子たち、癒されます



つい手に取りたくなるくまさん

道の駅販売会に向けて家庭総合科で製作している動物たち、思わず手に取ってみたくなるかわいらしさが人気だそうです。手触りもとてもホッとするので、購入希望する方が多いと聞いています。

ひと針ひと針丁寧に製作される動物たちは、一つとして同じものはできないので、製作に携わる生徒たちは、“この子は誰のところに行くのかしら？”と想像を巡らせながら愛情込めて作っています。

複数並べると、おしゃべりしているような気になる鳥さんたち

道の駅販売会は、７月１日（金）に開催予定です。新型コロナ感染症の感染状況によって、予定が変更されることもありますので、詳細は学校までお問い合わせください(^▽^)/